

## 【東都大学野球春季リーグ戦＜2部＞】

### “戦国東都”開幕

1部復帰へ最高の滑り出し

1部復帰を目指す野球部が連勝で最高のスタートを切った。

4月1、2日に東農大グラウンドで行われた東都大学野球春季リーグ戦(2部)の開幕戦。相手は3部から昇格してきた大正大。絶対に落とせない大事な1回戦は12安打と打線が爆発し12—0で快勝。2回戦も投手陣が踏ん張り4—1で勝利し、勝ち点1を得た。

両試合ともにチームが目指す守りの野球そのものだった。2試合で許した安打6本、奪った三振23個、わずか1失点。まさに完ぺきな内容に「最高のスタートを切れた」と長谷高成泰監督。初戦で2本のホームランを放った長谷川勇也(商4・酒田南高)は「芯に当たれば外野の頭は越えると信じてしっかり振り切った」と語り、先発で4回をパーフェクトに抑えた長谷川俊(商2・高陽東高)も「先頭バッターに気をつけ、立ち上がりを意識して投げました」と振り返った。また、2回戦でリーグ戦初勝利を挙げた品川幸一(商4・高輪高)は「初回の入り方に気を使いました。本当にうれしいです」と笑顔で答え、初登板した期待のルーキー・湯本五十六(商1・藤代高)は「自分は攻めて行くタイプなので、思い切りの良さを見てほしい」と力強く語った。

まだ先は長いが開幕戦を連勝で飾れたことは自信につながるはず。目標へ順調な第一歩を踏み出した専大ナイン。変わらぬ活躍を信じている。



開幕戦2ホームランと好調の長谷川勇也



4回をパーフェクトに迎え開幕投手の重責を果たした長谷川俊

(文・写真とも 田口 能成・経済2)

## 体育会特別研修会

「体育会特別研修会」が4月11日、生田キャンパスで行われ、佐藤満経営学部助教授、サウスイースト・ミズーリ州立大学のロバート・W・ハムリン教授が講演した＝写真。学生たちはスポーツと学業への取り組み方について、考えを新たにしていた。



## 体育会新入生歓迎会

4月1日、スポーツ推薦で入学した新入生を激励する「体育会新入生歓迎会」が行われ、三島英雄専務理事、加藤茂夫体育部長らがエールを送った。



新入生を激励する加藤体育部長

## 【部活拝見】—自動車部／ハンドボール部

日ごろ頑張っているにもかかわらず紙面に掲載されない部がたくさんあります。今回はそんな中から、今後の活躍が期待される自動車、ハンドボール両部の新主将に部の現状や目標について尋ねました。『専スポ』はすべての頑張っている体育会を応援しています。

### 質問

- ① 昨年と今年の取り組みの違い(練習方法など)
- ② 特に強化したいところ
- ③ 昨年の反省点や課題
- ④ 今後の目標

### 自動車部

#### 昨年「6耐」4位 来期優勝へ基礎作り

昨年は関東学生対抗軽自動車6時間耐久レースで4位入賞と健闘した自動車部。主力の4年次生が抜けた今年はチームの基礎を作り上げる重要な年となる。「来年の優勝」を目標に掲げる大原真恵主将(ネット情報3・高遠高)にインタビューした。

- ① 今年から新しくカートを導入したので、力を入れていきたい。メンバーが入れ替わったのでイチから始める感じですね。
- ② 時期的にジムカーナです(文末参照)。
- ③ 昨年は耐久レースで4位に入りました。主力が抜けてしまったので、来年以降を見据え、下積みの時期にしたい。整備スキルのアップに加え、練習会に参加したりしてスピードトレーニングに重点を置いています。
- ④ 4年次になった時に優勝できるチームに育てたい。そのために、2大イベントであるジムカーナと耐久レースに力を入れていきたい。

(宮山 友希・文3)

※ジムカーナ 舗装された路面を1台ずつ走行する競技。S字や360度ターンなどのパイロンスラロームでテクニックと最速タイムを競う。



オフロードを疾駆する専大車



レースに備え整備も慎重に

### ハンドボール部

#### 「和」の新チームに3部復帰への期待

昨年は4部に降格し、低迷期から抜け出せないでいるハンドボール部。しかし、メンバーの多くが高校時代から一緒に戦っている今年のチームは大きな可能性を秘めており、期待が高まる。3部復帰の中心を担う牛山彰幸主将(経営3・駿台甲府高)に話を聞いた。



チームワークの良さで上を狙う

① 昨年は練習に締まりがなかったので、今年は一人ひとり高い意識を持って、厳しいトレーニングをしたい。

② ディフェンスです。すべてはディフェンスから始まるので、まずは点を取られないようにしたい。

③ 精神的に弱く、試合の立ち上がりが悪くなるが多かったので、もっと練習に厳しく取り組み、「自分たちはこんなにやってきたんだぞ」という自信を持って試合に臨めるようにしたい。また、昨年はシュートミスで自滅していたので、もっと決定力を上げたい。

④ 優勝での3部復帰。個人としては、自分が活躍することよりもチームに貢献できるような働きをしたい。

(澤田 和輝・法3)



実戦を想定して特訓